## 平成28年度 年間授業計画

東京都立大森高等学校 定時制

					/k//\/\dip \frac{1}{2}/	大森局等字仪 定時制	
科 目 名			学年	単位	総授業時数	必修·選択	
物理基礎			2	2	7 0	必修	
指	自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して、物理とそれを取り巻く環境を中心に、自然の事						
導	物・現象について理解させるとともに、科学的な見方を取り入れ、自然に対する総合的な見方や考え						
目	方を養う。						
標							
		第一学期授業時数計< 24 >					
	第一章 力と運動						
	第 第 1節 物体の運動						
	一 ① 日常に起こる物体の運動/②速さとは/③等速直線運動と速度						
	学 ④速度の合成・相対速度/⑤加速度/⑥等加速度運動						
授	期 ⑦重力加速度と自由落下/⑧初速度のある運動						
		そのうえで、物体の運動について、予測できるように理解する。					
業	第二学期授業時数計〈 28 〉						
	第2節 力と運動の法則						
	第 ① 力と質量/②いろいろな力/③力の合成・分解						
	<u>-</u>	④大きさのある物体にはたら	く力の	つりあり	い/⑤運動の	第一法則	
内 学 ⑥力と質量と加速度の関係/⑦運動の第二法則/⑧運動の第					)第三法則		
	期	⑨摩擦力/⑩運動方程式の利用	月				
				ا لا ملت		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
(達成目標)いろいろな力が、関連づけられ同じ考え方で理解できるようにする。 室動の法則をきちんと自分の言葉で説明できるようにする。					よっにする。そのさい特に		
70.	第	第三学期授業時数計< 14 >	(60)	K 71/- 9	<u>る。</u>		
	<del>加</del>	第二章 エネルギー					
	-   70						
	期   ① 仕事とエネルギー/②仕事と仕事率/③運動エネルギー						
	④位置エネルギー/⑤力学的エネルギー保存の法則						
	⑥いろいろな運動と力学的エネルギー						
(達成目標)力とエネルギーが関連つけて理解できること。					_ 0		
	0.1	仕事とエネルギーという抽象的な概念を理解する。					
評	①定期考査とノート、プリント提出と実験実習提出の合計により評価をおこなう。②定期考査の赤点						
価土	は平均点の半分以下とする。③学年の評価は1学期、2学期、3学期の評価をもとに決める。④欠時						
方	が年間20時間を越えた場合には学年の評定を「1」とする。⑤遅刻は3回で1回の欠席とする。						
法	飲食・携帯など指導に従えない場合は欠席扱いとする。 「新編 物理基礎」(東京書籍)						
教	新編 物理基礎」(東京書籍) 						
科書							
書							